

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）	
信 託 期 間	約５年間（2015年６月26日～2020年６月17日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当 ファ ン ド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」（以下「アメリカン・リート・クワトロ・ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドの受益証券への投資を通じて、米国のリートに投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ※米国のリートへの投資にあたっては、米国のリート指数を対象としたETFを活用します。対象となるリート指数には、一部、モーゲージ・リートや不動産関連株式を含むことがあります。 ②当ファンドは、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカン・リート・クワトロ・ファンドでは、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。また、円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ-２格相当以上の債券およびコモディティ・ペーパーに投資することを基本とします。	
組 入 制 限	当 ファ ン ド の投資信託証券組入上限比率	無制限
	マ ザ ー フ ァ ン ド の株 式 組 入 上 限 比 率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から１年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

通貨選択型
米国リート・αクワトロ
（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第18期（決算日	2017年１月17日）
第19期（決算日	2017年２月17日）
第20期（決算日	2017年３月17日）
第21期（決算日	2017年４月17日）
第22期（決算日	2017年５月17日）
第23期（決算日	2017年６月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）」は、このたび、第23期の決算を行ないました。

ここに、第18期～第23期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 資 益 証 券 率 組 入 比	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分	み 金 騰 落	中 率			
	円	円		%	%	%	百万円
1 期末（2015年 8 月17日）	9,602	200	△	2.0	0.0	95.7	5,577
2 期末（2015年 9 月17日）	7,888	200	△	15.8	0.0	97.9	5,623
3 期末（2015年10月19日）	8,037	200		4.4	0.0	97.4	6,071
4 期末（2015年11月17日）	8,041	200		2.5	0.0	98.5	6,329
5 期末（2015年12月17日）	7,993	200		1.9	0.0	98.0	6,621
6 期末（2016年 1 月18日）	7,021	200	△	9.7	0.0	98.3	5,869
7 期末（2016年 2 月17日）	6,677	200	△	2.1	0.0	98.7	5,652
8 期末（2016年 3 月17日）	7,233	200		11.3	0.0	98.8	6,209
9 期末（2016年 4 月18日）	7,457	200		5.9	0.0	98.5	6,532
10期末（2016年 5 月17日）	7,561	200		4.1	0.0	97.8	7,060
11期末（2016年 6 月17日）	7,321	200	△	0.5	0.0	97.2	7,633
12期末（2016年 7 月19日）	7,860	200		10.1	0.0	97.7	8,928
13期末（2016年 8 月17日）	7,619	200	△	0.5	0.0	98.1	9,606
14期末（2016年 9 月20日）	7,085	200	△	4.4	0.0	96.9	10,310
15期末（2016年10月17日）	7,106	200		3.1	0.0	97.3	12,848
16期末（2016年11月17日）	6,627	200	△	3.9	0.0	96.7	14,762
17期末（2016年12月19日）	7,083	200		9.9	0.0	95.3	18,220
18期末（2017年 1 月17日）	7,147	200		3.7	0.0	94.1	24,758
19期末（2017年 2 月17日）	7,276	200		4.6	0.0	94.6	34,643
20期末（2017年 3 月17日）	6,992	200	△	1.2	0.0	94.8	49,534
21期末（2017年 4 月17日）	6,760	200	△	0.5	0.0	97.3	61,876
22期末（2017年 5 月17日）	6,617	200		0.8	0.0	97.0	69,672
23期末（2017年 6 月19日）	6,219	200	△	3.0	0.0	97.1	74,670

（注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注 2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

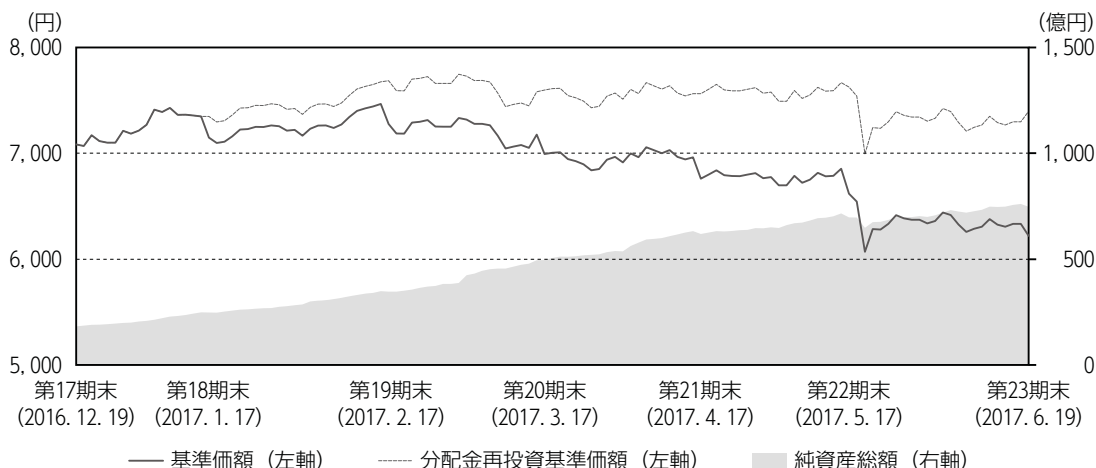
（注 3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注 4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第18期首：7,083円

第23期末：6,219円（既払分配金1,200円）

騰落率：4.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド（以下「アメリカン・リート・クワトロ・ファンド」といいます。）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドについては、米国のリートに投資し、

米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行なうとともに、リートならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築した結果、ブラジル・レアルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、リートが上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与しました。オプション取引については、リートのオプション、通貨のオプションともにマイナスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第18期	(期 首) 2016年12月19日	円 7,083	% —	% 0.0	% 95.3
	12月末	7,213	1.8	—	96.0
	(期 末) 2017年 1月17日	7,347	3.7	0.0	94.1
第19期	(期 首) 2017年 1月17日	7,147	—	0.0	94.1
	1 月末	7,213	0.9	0.0	94.9
	(期 末) 2017年 2月17日	7,476	4.6	0.0	94.6
第20期	(期 首) 2017年 2月17日	7,276	—	0.0	94.6
	2 月末	7,251	△ 0.3	0.0	94.8
	(期 末) 2017年 3月17日	7,192	△ 1.2	0.0	94.8
第21期	(期 首) 2017年 3月17日	6,992	—	0.0	94.8
	3 月末	6,966	△ 0.4	—	97.4
	(期 末) 2017年 4月17日	6,960	△ 0.5	0.0	97.3
第22期	(期 首) 2017年 4月17日	6,760	—	0.0	97.3
	4 月末	6,774	0.2	0.0	97.4
	(期 末) 2017年 5月17日	6,817	0.8	0.0	97.0
第23期	(期 首) 2017年 5月17日	6,617	—	0.0	97.0
	5 月末	6,337	△ 4.2	0.0	97.6
	(期 末) 2017年 6月19日	6,419	△ 3.0	0.0	97.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 12. 20 ~ 2017. 6. 19)

■米国不動産E T F市況

i シェアーズ米国不動産E T F（配当再投資）は米ドルベースで8.2%上昇しました。第18期首から2017年1月にかけては上値が重い展開となりましたが、2月に入ると、トランプ政権による大規模な減税政策への期待が高まったことなどから投資家のリスク選好姿勢が強まり、上昇しました。その後、3月のF O M C（米国連邦公開市場委員会）を前にして政策金利の引き上げが発表されるとの警戒感からいったんは弱含みましたが、2017、2018年の政策金利の見通しが据え置かれたことから米国債利回りが低下して上昇に転じ、第23期末にかけて底堅く推移しました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で4.2%下落しました。第18期首から2017年2月半ばにかけては、原油価格の上昇やブラジル政策金利の引き下げ、M & A（企業の合併・買収）関連の資金流入などが支援材料となり、上昇基調で推移しました。その後は、米国トランプ政権の政策に対する懐疑的な見方から円を買い戻す動きが強まったほか、ブラジル政府が当初の年金制度改革法案の修正を余儀なくされたことなどにより、テメル政権の求心力低下が印象付けられたことなどを背景に、下落に転じました。5月には、ブラジルの大手食肉会社をめぐるテメル大統領への疑惑が報道されたことを受けて、急落しました。

■短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを0.50~0.75%から1.00~1.25%に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を13.75%から合計3.50%ポイント引き下げ、10.25%としました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたE T Fを活用し、米国のリートへの投資を行ない

ます。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2016. 12. 20 ~ 2017. 6. 19)

■当ファンド

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETFを活用し、米国のリートへの投資を行ないました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないました。投資対象とするETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、リート・カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第18期から第23期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ200円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
	2016年12月20日 ～2017年1月17日	2017年1月18日 ～2017年2月17日	2017年2月18日 ～2017年3月17日	2017年3月18日 ～2017年4月17日	2017年4月18日 ～2017年5月17日	2017年5月18日 ～2017年6月19日
当期分配金（税込み）（円）	200	200	200	200	200	200
対基準価額比率（％）	2.72	2.68	2.78	2.87	2.93	3.12
当期の収益（円）	167	188	118	200	200	200
当期の収益以外（円）	32	11	81	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	3,470	3,488	3,433	3,506	3,536	3,575

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
(a) 経費控除後の配当等収益	167.74円	188.21円	118.10円	238.54円	214.88円	226.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,898.16	3,091.57	3,252.54	3,329.07	3,368.51	3,403.64
(d) 分配準備積立金	604.83	408.37	262.92	138.98	153.38	146.12
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,670.74	3,688.15	3,633.57	3,706.60	3,736.78	3,775.78
(f) 分配金	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,470.74	3,488.15	3,433.57	3,506.60	3,536.78	3,575.78

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETFを活用し、米国のリートへの投資を行いません。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いません。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50％程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第18期～第23期 (2016. 12. 20～2017. 6. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0. 603%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6, 961円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0. 376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	42	0. 606	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2016年12月20日から2017年 6月19日まで)

決 算 期	第 18 期 ～ 第 23 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	1,589,833.436	64,707,410	—	—

(注 1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注 2) 金額は受渡し代金。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2016年12月20日から2017年 6月19日まで)

第 18 期 ～ 第 23 期							
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	1,339,849.782	54,920,000	40				

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第18期～第23期）中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年12月20日から2017年 6月19日まで)

決 算 期	第 18 期 ～ 第 23 期					
区 分	買付額等 A	う ち 利 害 関係人との 取引状況B		売付額等 C	う ち 利 害 関係人との 取引状況D	
		B／A			D／C	
公社債	百万円 349,841	百万円 68,362	% 19.5	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	11,461,817	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第18期～第23期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 23 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND	1,999,234.359	72,522,226	97.1

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年 6 月19日現在

項 目	第 23 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	72,522,226	94.0
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	4,666,237	6.0
投資信託財産総額	77,188,623	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第17期末	第 23 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年 1 月17日)、(2017年 2 月17日)、(2017年 3 月17日)、(2017年 4 月17日)、(2017年 5 月17日)、(2017年 6 月19日) 現在

項 目	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末	第23期末
(A) 資産	27,025,216,574円	36,427,257,955円	51,760,894,925円	65,855,900,676円	71,965,537,008円	78,188,623,539円
コール・ローン等	2,973,106,536	2,975,484,540	4,086,963,647	4,680,276,887	4,409,631,490	4,666,237,240
投資信託受益証券（評価額）	23,301,950,086	32,761,613,463	46,953,771,342	60,175,463,853	67,555,745,598	72,522,226,395
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	159,952	159,952	159,936	159,936	159,920	159,904
未収入金	750,000,000	690,000,000	720,000,000	1,000,000,000	—	1,000,000,000
(B) 負債	2,266,302,038	1,784,093,063	2,226,663,987	3,979,717,842	2,292,657,441	3,518,145,825
未払金	1,500,000,000	690,000,000	720,000,000	2,000,000,000	—	1,000,000,000
未払収益分配金	692,856,020	952,233,935	1,416,982,276	1,830,674,155	2,105,747,632	2,401,405,917
未払解約金	52,985,965	111,682,713	51,116,110	91,178,993	120,225,815	37,360,176
未払信託報酬	20,324,575	29,845,127	38,034,033	57,112,764	65,750,034	78,254,229
その他未払費用	135,478	331,288	531,568	751,930	933,960	1,125,503
(C) 純資産総額（A－B）	24,758,914,536	34,643,164,892	49,534,230,938	61,876,182,834	69,672,879,567	74,670,477,714
元本	34,642,801,031	47,611,696,799	70,849,113,810	91,533,707,773	105,287,381,628	120,070,295,882
次期繰越損益金	△ 9,883,886,495	△ 12,968,531,907	△ 21,314,882,872	△ 29,657,524,939	△ 35,614,502,061	△ 45,399,818,168
(D) 受益権総口数	34,642,801,031口	47,611,696,799口	70,849,113,810口	91,533,707,773口	105,287,381,628口	120,070,295,882口
1万口当り基準価額（C／D）	7,147円	7,276円	6,992円	6,760円	6,617円	6,219円

* 第17期末における元本額は25,723,894,675円、当作成期間（第18期～第23期）中における追加設定元本額は98,635,168,241円、同解約元本額は4,288,767,034円です。

* 第23期末の計算口数当りの純資産額は6,219円です。

* 第23期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は45,399,818,168円です。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)

■損益の状況

第18期 第19期	自2016年12月20日 自2017年1月18日	至2017年1月17日 至2017年2月17日	第20期 第21期	自2017年2月18日 自2017年3月18日	至2017年3月17日 至2017年4月17日	第22期 第23期	自2017年4月18日 自2017年5月18日	至2017年5月17日 至2017年6月19日
項 目	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期		
(A) 配当等収益	597,799,301円	915,304,909円	875,021,579円	2,240,786,712円	2,328,459,180円	2,792,133,711円		
受取配当金	597,849,038	915,369,628	875,128,752	2,240,949,068	2,328,611,673	2,792,291,058		
受取利息	35	300	207	237	142	174		
支払利息	△ 49,772	△ 65,019	△ 107,380	△ 162,593	△ 152,635	△ 157,521		
(B) 有価証券売買損益	135,915,521	517,228,183	△ 1,338,649,430	△ 2,424,323,896	△ 1,678,449,177	△ 4,694,679,016		
売買益	138,249,171	519,838,355	7,582,878	9,045,021	6,031,505	39,554,633		
売買損	△ 2,333,650	△ 2,610,172	△ 1,346,232,308	△ 2,433,368,917	△ 1,684,480,682	△ 4,734,233,649		
(C) 信託報酬等	△ 20,460,053	△ 30,040,937	△ 38,234,313	△ 57,335,027	△ 65,946,487	△ 78,447,682		
(D) 当期損益金 (A + B + C)	713,254,769	1,402,492,155	△ 501,862,164	△ 240,872,211	584,063,516	△ 1,980,992,987		
(E) 前期繰越損益金	△ 1,623,649,116	△ 1,571,527,107	△ 1,106,177,261	△ 3,000,388,943	△ 5,040,796,377	△ 6,498,726,326		
(F) 追加信託差損益金	△ 8,280,636,128	△ 11,847,263,020	△ 18,289,861,171	△ 24,585,589,630	△ 29,052,021,568	△ 34,518,692,938		
(配当等相当額)	(10,040,060,644)	(14,719,500,015)	(23,043,961,075)	(30,472,291,950)	(35,466,192,205)	(40,867,713,180)		
(売買損益相当額)	(△ 18,320,696,772)	(△ 26,566,763,035)	(△ 41,333,822,246)	(△ 55,057,881,580)	(△ 64,518,213,773)	(△ 75,386,406,118)		
(G) 合計 (D + E + F)	△ 9,191,030,475	△ 12,016,297,972	△ 19,897,900,596	△ 27,826,850,784	△ 33,508,754,429	△ 42,998,412,251		
(H) 収益分配金	△ 692,856,020	△ 952,233,935	△ 1,416,982,276	△ 1,830,674,155	△ 2,105,747,632	△ 2,401,405,917		
次期繰越損益金 (G + H)	△ 9,883,886,495	△ 12,968,531,907	△ 21,314,882,872	△ 29,657,524,939	△ 35,614,502,061	△ 45,399,818,168		
追加信託差損益金	△ 8,280,636,128	△ 11,847,263,020	△ 18,289,861,171	△ 24,585,589,630	△ 29,052,021,568	△ 34,518,692,938		
(配当等相当額)	(10,040,060,644)	(14,719,500,015)	(23,043,961,075)	(30,472,291,950)	(35,466,192,205)	(40,867,713,180)		
(売買損益相当額)	(△ 18,320,696,772)	(△ 26,566,763,035)	(△ 41,333,822,246)	(△ 55,057,881,580)	(△ 64,518,213,773)	(△ 75,386,406,118)		
分配準備積立金	1,983,573,126	1,888,202,298	1,282,593,180	1,624,926,540	1,771,715,425	2,066,783,401		
繰越損益金	△ 3,586,823,493	△ 3,009,471,185	△ 4,307,614,881	△ 6,696,861,849	△ 8,334,195,918	△ 12,947,908,631		

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
(a) 経費控除後の配当等収益	581,128,445円	896,111,748円	836,787,262円	2,183,451,677円	2,262,512,685円	2,713,686,021円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	10,040,060,644	14,719,500,015	23,043,961,075	30,472,291,950	35,466,192,205	40,867,713,180
(d) 分配準備積立金	2,095,300,701	1,944,324,485	1,862,788,194	1,272,149,018	1,614,950,372	1,754,503,297
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	12,716,489,790	17,559,936,248	25,743,536,531	33,927,892,645	39,343,655,262	45,335,902,498
(f) 分配金	692,856,020	952,233,935	1,416,982,276	1,830,674,155	2,105,747,632	2,401,405,917
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	12,023,633,770	16,607,702,313	24,326,554,255	32,097,218,490	37,237,907,630	42,934,496,581
(h) 受益権総口数	34,642,801,031口	47,611,696,799口	70,849,113,810口	91,533,707,773口	105,287,381,628口	120,070,295,882口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
	200円	200円	200円	200円	200円	200円
（単 価）	(7, 147円)	(7, 276円)	(6, 992円)	(6, 760円)	(6, 617円)	(6, 219円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-
ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2017年6月19日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

財政状態計算書
2016年9月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥	11,296,671,499
現金および現金同等物		270,000,095
未収：		
設定申込み		400,000,000
資産合計		11,966,671,594

負債

未払：		
購入済みの投資		670,000,000
負債合計		670,000,000

資本（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産）

受益証券元本		15,880,953,362
繰越損失		(4,584,281,768)
資本合計		11,296,671,594
資本・負債合計	¥	11,966,671,594

包括利益計算書

2016年9月30日に終了した年度

収益

手数料収入	¥	5,255,509,632
利息収入		428
金融資産に係る純実現損失（損益通算後の評価額）		(65,546,630)
金融資産に係る評価損の純変動（損益通算後の評価額）		(3,325,869,755)
収益合計		1,864,093,675

費用

報酬支払代行人手数料		25,297,571
費用合計		25,297,571
営業損失		1,838,796,104
包括利益合計（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増加）	¥	1,838,796,104

2016年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	米国 REIT クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	15,788,605,343 円
評価額	11,296,671,499 円
評価損	(4,491,933,844) 円

（注）担保付スワップへの投資を通じて、米国のリートへ投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型 米国リート・ α クワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第23期の決算日（2017年6月19日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を15ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

（2016年12月20日から2017年6月19日まで）

買 付			売 付		
銘 柄		金 額	銘 柄		金 額
		千円			千円
645 国庫短期証券	2017/2/20	46,711,084			
657 国庫短期証券	2017/4/17	31,380,607			
659 国庫短期証券	2017/4/24	30,090,880			
669 国庫短期証券	2017/6/12	29,100,894			
652 国庫短期証券	2017/3/27	27,220,217			
642 国庫短期証券	2017/2/6	25,890,391			
644 国庫短期証券	2017/5/12	22,760,976			
651 国庫短期証券	2017/3/21	21,610,540			
660 国庫短期証券	2017/5/1	15,890,292			
638 国庫短期証券	2017/1/16	12,400,099			

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2017年6月19日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（139,898,230千口）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2017年6月19日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	872,000	872,009	0.6	—	—	—	0.6

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注3）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2017年6月19日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	672 国庫短期証券	—	872,000	872,009	2017/06/26	

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

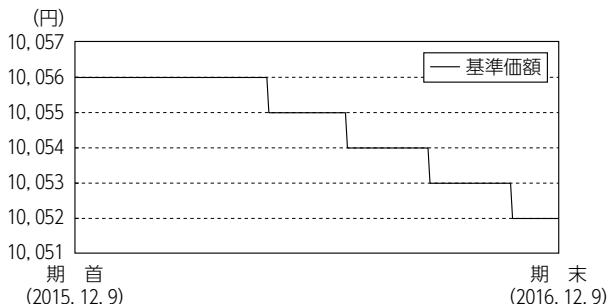
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	騰 落 率		
(期 首) 2015年12月9日	円	%	%
12月 末	10,056	—	51.3
2016年1月 末	10,056	0.0	53.4
2月 末	10,056	0.0	57.6
3月 末	10,056	0.0	42.0
4月 末	10,056	0.0	5.2
5月 末	10,056	0.0	5.4
6月 末	10,055	△ 0.0	0.1
7月 末	10,055	△ 0.0	1.9
8月 末	10,054	△ 0.0	19.3
9月 末	10,054	△ 0.0	45.8
10月 末	10,053	△ 0.0	26.0
11月 末	10,053	△ 0.0	3.4
(期 末) 2016年12月9日	10,052	△ 0.0	26.7
	10,052	△ 0.0	28.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,056円 期末：10,052円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

	買 付 額	売 付 額
国 内	千円 436,874,861	千円 —
国債証券	(409,652,750)	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	売 付	買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	38,290,545		
601 国庫短期証券 2016/7/19	32,440,634		
611 国庫短期証券 2016/9/5	32,020,679		
591 国庫短期証券 2016/5/30	27,000,600		
629 国庫短期証券 2016/11/28	21,440,750		
609 国庫短期証券 2016/8/22	18,650,416		
632 国庫短期証券 2016/12/12	18,230,651		
610 国庫短期証券 2016/8/29	18,200,396		
596 国庫短期証券 2016/6/20	17,520,381		
533 国庫短期証券 2016/5/20	17,450,349		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建) 公社債(種類別)

作 成 期	当 期		期 末		期 末	
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%
国債証券	29,310,000	29,310,563	28.1	—	—	28.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

当 期		期 末		期 末	
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	632 国庫短期証券	—	18,230,000	18,230,147	2016/12/12
	634 国庫短期証券	—	3,720,000	3,720,073	2016/12/19
	635 国庫短期証券	—	7,360,000	7,360,342	2016/12/26
合計	銘柄数	3銘柄			
	金 額		29,310,000	29,310,563	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	29,310,563	27.2
コール・ローン等、その他	78,355,232	72.8
投資信託財産総額	107,665,795	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	107,665,795,581円
コール・ローン等	78,354,409,362
公社債(評価額)	29,310,563,469
その他未収収益	822,750
(B) 負債	3,360,063,840
未払金	3,360,063,840
(C) 純資産総額(A-B)	104,305,731,741
元本	103,766,716,434
次期繰越損益金	539,015,307
(D) 受益権総口数	103,766,716,434口
1万口当り基準価額(C/D)	10,052円

* 期首における元本額は4,068,192,218円、当期中における追加設定元本額は128,013,693,034円、同解約元本額は28,315,168,818円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド(適格機関投資家専用)512,014,302円、ダイワ米ドル・ベアファンド(適格機関投資家専用)11,755,926,415円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07(為替ヘッジあり/限定追加型)995円、通貨選択型米国リート・αクワトロ(毎月分配型)159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ(毎月分配型)159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10(為替ヘッジあり)995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12(為替ヘッジあり)995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02(為替ヘッジあり/限定追加型)995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-08(為替ヘッジあり/限定追加型)995円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティ™・ファンド15,363,351円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド(通貨選択型)日本円・コース(毎月分配型)998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド(通貨選択型)ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド(通貨選択型)アジア通貨・コース(毎月分配型)998円、ダイワTOPIXベア・ファンド(適格機関投資家専用)89,575,789,270円、ダイワユーロベア・ファンド(3倍、非リバランス型)(適格機関投資家専用)1,501,723,555円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α(毎月分配型)9,949円、ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオUSトライアングル-351,635,806円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド-予想分配金提示型-53,926,540円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,052円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月 9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 31,874,427円
受取利息	△ 7,919,727
その他収益金	822,750
支払利息	△ 24,777,450
(B) 有価証券売買損益	△ 1,748,531
売買益	39
売買損	△ 1,748,570
(C) その他費用	△ 248,630
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 33,871,588
(E) 前期繰越損益金	22,707,764
(F) 解約差損益金	△ 153,699,691
(G) 追加信託差損益金	703,878,822
(H) 合計 (D + E + F + G)	539,015,307
次期繰越損益金 (H)	539,015,307

- (注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。